

人民管理の諜報活動記録から
戦後民主化と反動の時代を
浮かび上がらせる貴重資料！

法務府特別審査局

内部資料

特審月報

一九五〇～一九五二年

全7巻

應用

昭和二十五年十一月

特審月報 第一號

法務府特別審査局

A5判/上製/総三、二四ページ
揃定価 本体十四万円十税

全7巻十別冊1

解説 荻野富士夫

不二出版



本誌は、現在の公安調査庁の前身・法務府特別審査局が一九五〇年二月に創刊した内部資料である。

A級戦犯の刑期短縮・釈放、公職追放者の追放解除、それに代わっておこなわれた共産党中央委員の公職追放、レッド・パージ、警察予備隊の創設など、敗戦後日本の民主化・非軍事化に逆行する「逆コース」のなかで、特別審査局は戦後治安体制の一翼を担った。

特別審査局(特審局)は、主には日本共産党の、そしてそのほか軍国主義復活を求める右翼団体等の動向を探るために、対象組織内部にスパイを送り込み、情報提供者を育成し、情報を入力する諜報活動をおこなった。

本誌は、特審局が公安調査庁となつて(一九五二年七月)発展的に解消される直前まで、月刊で刊行された調査資料である。日本共産党を中心とする社会主義団体はもとより、在日朝鮮人団体、学生運動、平和団体、公職追放者や旧将校・在郷軍人会等の軍国主義団体、労働組合、旧領土復帰運動団体、反共団体、暴力団の調査結果を報告すると同時に、追放令違反者の動向や追放令違反事件を審判した裁判所の判断についての特審局内部での意見交換など、諜報機関の実態に迫る内容を持っている。

現代史研究に必須の稀覯資料を復刻するものである。

関連年表

1910年11月	幸徳秋水・菅野すがらが大逆罪により大審院で死刑判決。翌年処刑(大逆事件)
1911年8月	大逆事件を機に警視庁に特別高等警察課(特高課)が置かれる
1945年10月	GHQ「人権指令」により特高課は治安維持法とともに廃止
10月	GHQの覚え書きにより内務省調査部設置
12月	内務省警保局内に公安課新設
1946年2月	公職追放令。1948年までに20万人以上が職場から追放
8月	内務省調査部、調査局に格上げ
1947年12月	内務省、解体
1948年1月	調査局の業務、総理府内務局第二局に継承
2月	内務局第二局、法務府特別審査局に改称
8月	大韓民国成立
9月	朝鮮民主主義人民共和国成立
1949年4月	団体等規正令
6月	法務府特別審査局、法務府特別審査局に改称
7月	下山事件
7月	三鷹事件
8月	松川事件
10月	中華人民共和国成立
1950年5月	マッカーサー、日本共産党の非合法化を示唆
6月	マッカーサー、共産党中央委員追放指令
6月	朝鮮戦争勃発
7月	マッカーサー、共産党機関誌「アカハタ」等の無期限発行停止処分を指令
8月	レッド・パージ本格化
11月	勅令311号(反占領軍・反米行為の取締り)が政令325号「占領目的阻害行為処罰令」に「改正」されて施行
11月	「特審月報」創刊
10月	サンフランシスコ平和条約締結
1951年9月	日本共産党第5回全国協議会で、武装闘争路線を決定
1952年1月	白鳥事件
2月	東大本郷キャンパスで松川事件をテーマとした演劇を学生劇団ポポロが上演した際、私服警官を発見した学生が、暴行をはたらいたとして起訴される(ポポロ事件)
3月	小河内山村工作隊事件
4月	公職追放令、廃止(サンフランシスコ平和条約発効と同時に)
4月	破壊活動防止法案、衆議院に提出
5月	血のメデー事件
6月	「特審月報」終刊
7月	破壊活動防止法、成立
7月	特別審査局、法務府公安調査庁に改称
8月	法務府公安調査庁、法務省公安調査庁に改称

第一追放者監査

一 監査一般概況

1. 六、六追放関係諸者に対する監査が低調であるが如き印象を一般に見えていたところ十月七日舊日共中央委員の一人である春日正一氏の逮捕されるに及んで俄然この面の監査にも色彩を加え一層の活況を呈するに至つた。

2. 追放解除の話題も望みなしとして一部には諦めの気分もあつた矢先十月十三日突如発表された大量解除は追放者に対しては勿論、社会一般に対しても大きな破綻を投げかけた。

3. 追放解除の話題も望みなしとして一部には諦めの気分もあつた矢先十月十三日突如発表された大量解除は追放者に対しては勿論、社会一般に対しても大きな破綻を投げかけた。

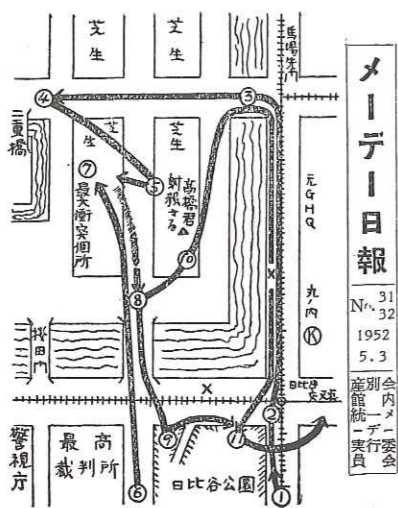
4. 追放者一般の心理的動搖に伴い誤解若しくは不注意の中に違反行為に出るものもあることも豫想されるが、殊に來る十一月十日施行豫定の教育委員の選挙に際してはこの種追放者の活動も考えられるので十月二十

創刊号(一九五〇年二月)より

内容見本

(注) 当日の激斗要因

本年三月下旬頃より統一メデー実行委員会なるものが結成せられ産別会館内に事務所を設置し三月二十五日より概ね毎日メデー日報を刊行し全国左翼系単産の共産党員及びシンパに配布して五月三日附左記要因は詳細な経緯も概ね正確なもので其後左翼系組合機関紙に援用宣伝されてゐるので、参考として抜



抜 萃

①中部地区労働者デモ行進②二時十五分交差点で約百名の警官隊と衝突、突破③二時三十分、三十分警官と衝突、突破④二時三十分警官と衝突、突破⑤二時三十分警官と衝突、突破⑥二時三十分警官と衝突、突破⑦二時三十分警官と衝突、突破⑧二時三十分警官と衝突、突破⑨二時三十分警官と衝突、突破⑩二時三十分警官と衝突、突破

×印は米軍自動車

講ずる。

(5) 政府は文部次官通達の補正(補正または追加)について再検討すべきことを勧告する。

○三月九日、午後六時十分からラヂオ東京の「マイクを探る」の時間に、学園を荒すものは」と題して東大事件を採りあげ、吉田首相等六名の談話の一部を録音盤に依つて放送された。

この事件を採りあげて、社会問題に発展させ、特高警察の再現と云う印象を強く世人に与えたことは左翼勢力の大きな成功と云へるであらう、但し良識ある一部の人は、学校内に共産党勢力が拡大しつゝあり、党活動が行われてゐる認識と不安を与えたこともまた見逃がせまい。

また今日の如き警察官を殴打、脅迫して警察手帳をとりあげた一部学生の思慮を缺いた批難されるべき不利な行動も、学園の自治の侵害である云う大きな問題にまで拡大させ、学校当局を動かす、巧みに有利な事件に転回させた極左勢力の巧妙な指導力と、学内には学生ばかりでなく、共産党を支持する教授、助教が少からず存在していることを認識して、今後とも治安関係当事者は、彼等の術策に乗じられないよう特に警戒を要するものがある。

八 労働組合の動向

1 宇都宮労働組合の動向
昨年十二月下旬頃より「賃金改訂及び労働協約改正」等の問題で数回に亘る団交において妥結を見出せなかつた宇都宮労働組合は、本年二月一日及び二月八日会社側の経営合理化案として組合幹部五名を含めた一八〇名の被官、一〇〇名の配置転換、六〇名の転出計画が示されたのを不満として二月二十二日午後三時四十分を期し無期限ストに入つた。

戦後民主主義の進展を阻む 諜報活動の記録

● 小田中聰樹(おだなかとしき 東北大学名誉教授)

法務府特別審査局は、一九四八年二月に勅令第一〇一号(一九四六年二月三日発布。一九四九年四月四日団体等規正令となる)に基づき、占領政策実施の機関として設立され、同勅令に基づく内務省調査局及び総理府内務局第二局の業務を引き継ぎ、反占領軍的な団体や公職追放該当者などの調査や監視等を行う諜報的活動を行った。その活動は、占領政策の反共化と逆コースの進展に伴い、共産党をはじめとする政治勢力や平和勢力、そして在日朝鮮人などの組織や活動にも向けられていき、一九五二年破防法制定後の公安調査庁の諜報的活動へと引き継がれていった。

特別審査局が自らの手で活動を記録した『特審月報』は、そのまがましい諜報活動が、占領期から独立期、そしてそれ以後の民主主義と平和、また人権を求める日本の政治や社会、思想・文化の営みに対して、いかに大きな暗い影を落とし、禍いと恐怖・脅威を与え、その民主的発展を阻害してきたかということを深く考えさせる、貴重な資料である。

米国CIA等の監視記録と 呼応する内部資料

● 加藤哲郎(かとうてつろう 一橋大学大学院教授)

このたび復刻された法務省特別審査局(特審局)の内部資料『特審月報』は、世界的な冷戦、日本における逆コース、日本共産党の中央委員追放・非合法化を受け、レッド・パージの嵐が吹き、自衛隊の前身である警察予備隊が発足した時代を映し出す。

特審局は、一九四九年四月、占領軍GHQの団体等規正令にもとづき設置された。今日の公安調査庁は、一九五二年七月、朝鮮戦争のさなかに破壊活動防止法が施行されて、特審局を改組し生まれたものだった。

一九五〇年一月創刊号の「最近の国際情勢」には、「米国における反共立法」「濠州の共産党解散」とある。アメリカ合衆国ではマッカーシズムの嵐が吹き荒れ、その日本版でも、監視対象は共産党、労働組合、学生運動、平和運動から宗教団体、文学運動に及んだ。

最近米国国立公文書館(NARA)では、この期の日本・ドイツの無数の個人・団体に対する中央情報局(CIA)、米国防軍省事情報部(MIS)、連邦捜査局(FBI)の監視記録の公開が始まった。その対象には日本国内の左翼組織の指導者・構成員が多く含まれ、『特審月報』とCIA・MISファイルの照合から、ウィロビーらGHQ・G2の諜報組織と旧日本軍情報将校・特務機関のつながり、国際共産主義運動と反共運動の世界的な情報戦、日本における戦後諜報機関発足の地下水脈がみえてくる。日米合作の情報戦の謀略的・反人民的性格は、今日の公安調査庁にも受け継がれる。

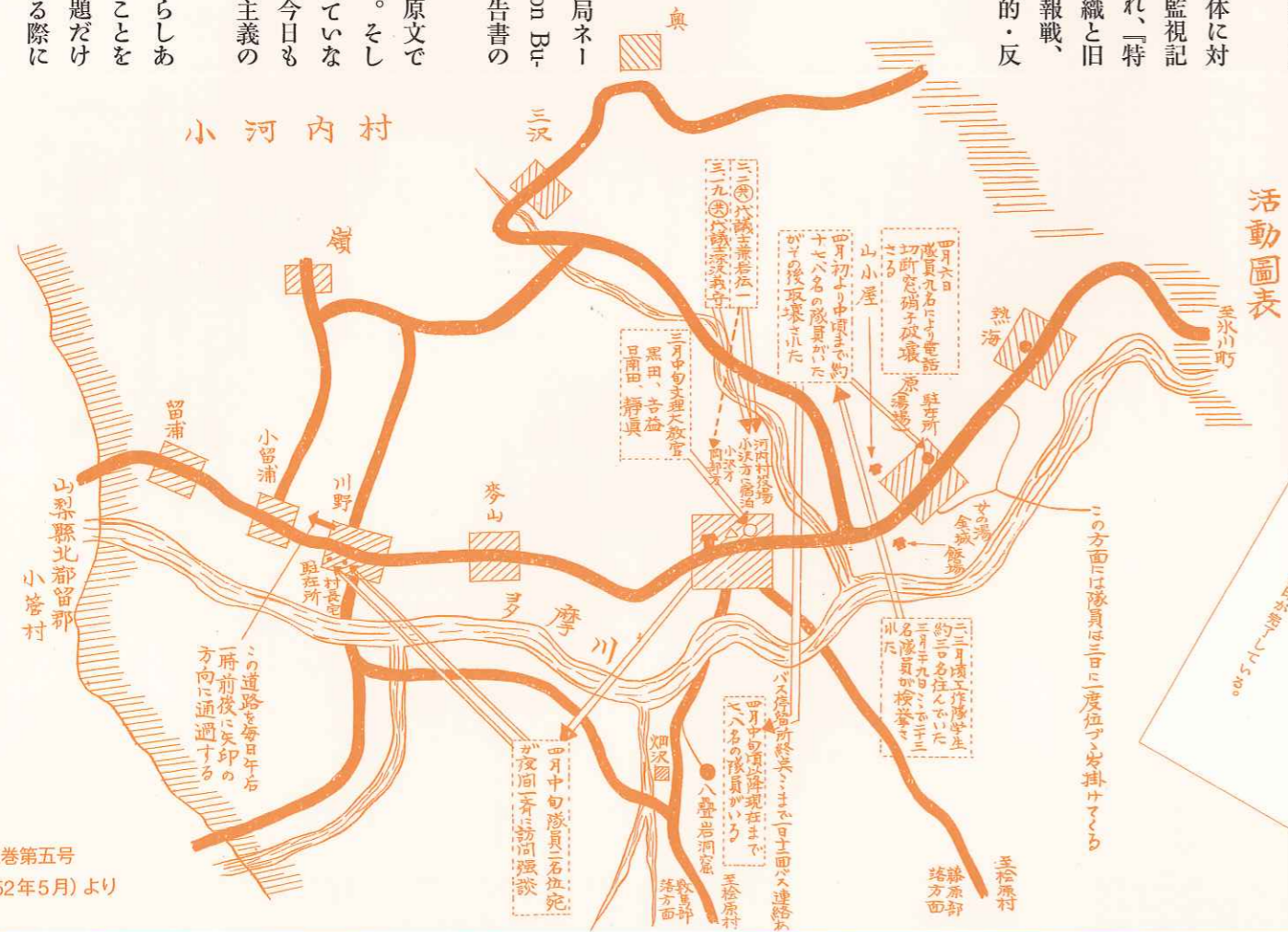
朝鮮戦争下の在日朝鮮人管理の 軌跡を記録

● 小林知子(こばやしともこ 福岡教育大学准教授)

GHQ/SCAP文書には、法務府特別審査局長吉河光貞の署名付きで、民政局ネーユア(Jack P. Neper)中佐に送られていた、在日朝鮮人に関するSpecial Investigation Bureau(特別審査局)の英文報告書が数多くある。それらの存在を知ってからは、その報告書の日本語による原文を見てみたい、とずっと思ってきた。

今回、復刻された『特審月報』は、その日常的に送られていた報告書そのものの原文ではないが、在日朝鮮人の動向に関して集約された情報で、かなりの部分を占めている。そして、その内容からは、日本がいかに管理対象という観点からしか在日朝鮮人を捉えていなかったかという問題が浮き彫りになっている。この観点は、米ソ冷戦体制が終結した今日もなお、ますます強化されており、日本と他のアジアとの相互理解の深化を妨げ、民主主義の原理を犯し、時に深刻な人権侵害を引き起こしているといっても過言ではない。

『特審月報』に描かれた在日朝鮮人像については、在日朝鮮人側の刊行物などと照らしあわせて歴史的・構造的視点から、批判的に検証することが不可欠である。が、このことを意識した上で『特審月報』を読み解くことは、在日朝鮮人史や社会変革をめぐる問題だけでなく、朝鮮人の思い、それに対する日本のアジア認識・外国人との共生などを考える際にも、本質的に重要である。



活動圖表

この方面には隊員は三百に度度づつ増掛して

四月六日 飯沼丸山より電話
切断を指示破壊
四月七日 山小屋
四月八日 山小屋
四月九日 山小屋
四月十日 山小屋
四月十一日 山小屋
四月十二日 山小屋
四月十三日 山小屋
四月十四日 山小屋
四月十五日 山小屋
四月十六日 山小屋
四月十七日 山小屋
四月十八日 山小屋
四月十九日 山小屋
四月二十日 山小屋
四月二十一日 山小屋
四月二十二日 山小屋
四月二十三日 山小屋
四月二十四日 山小屋
四月二十五日 山小屋
四月二十六日 山小屋
四月二十七日 山小屋
四月二十八日 山小屋
四月二十九日 山小屋
四月三十日 山小屋

地方別	団体	名称	所在地	構成員数	代表者
東北	朝鮮人少年団	朝鮮人少年団組織表	仙台市東十番町六六志学寮内	四〇名	在 地
三 色	旗	朝鮮高等学校自治会			
2	少年ニュース	東京朝鮮少年団			
3	仲良し新聞	米原小学校内朝鮮人少年団			
4	学童ニュース	朝鮮学生同盟京都地方本部			
5					

第一巻第六号(一九五一年六月)
「在日朝鮮人少年団について」より

この方面には隊員は三百に度度づつ増掛して

四月六日 飯沼丸山より電話
切断を指示破壊
四月七日 山小屋
四月八日 山小屋
四月九日 山小屋
四月十日 山小屋
四月十一日 山小屋
四月十二日 山小屋
四月十三日 山小屋
四月十四日 山小屋
四月十五日 山小屋
四月十六日 山小屋
四月十七日 山小屋
四月十八日 山小屋
四月十九日 山小屋
四月二十日 山小屋
四月二十一日 山小屋
四月二十二日 山小屋
四月二十三日 山小屋
四月二十四日 山小屋
四月二十五日 山小屋
四月二十六日 山小屋
四月二十七日 山小屋
四月二十八日 山小屋
四月二十九日 山小屋
四月三十日 山小屋

目次

九 質疑 應答……………(五)

一〇 監査部法令研究書記事(第一回)……………(六)

第二 諸団体調査

一 最近の團體情勢……………(七)

1 概況……………(七)

2 米國に於ける反共立法……………(四)

3 濠州の共產黨解散……………(五)

二 大東塾關係……………(五)

1 息吹歌會……………(五)

2 言靈社の動向……………(五)

3 不知火歌會……………(五)

4 みちのく歌會……………(五)

5 影山正治の九州行脚取止めにつて……………(五)

三 東亞連盟關係……………(五)

1 石原莞爾の一週年忌……………(五)

2 精華會全國大會……………(五)

3 元東亞連盟常任理事木村武雄の官動……………(六)

四 元大日本赤誠會々員牧島正臣の動向……………(六)

五 教育委員選舉を控えての政黨諸團體の動向……………(六)

六 反共團體の動向……………(六)

1 概況……………(六)

2 日本革命同志會……………(六)

3 電源防衛總聯起大會及び同大會開催前後における右翼反共團體の動向……………(六)

4 祖國防衛神奈川縣民大會……………(六)

5 その他……………(六)

七 世界婦僑組合連盟(世界婦連)の日本における連絡事務局につて……………(六)

八 レッドパージと勢組の動向……………(六)

九 在日左派朝鮮人團體の動き……………(六)

一〇 最近における日本共產黨の動向……………(六)

1 概況……………(六)

2 党内問題……………(六)

3 第二戦線組織……………(六)

一 地方税法實施を繞る反稅斗争……………(六)

創刊号(1950年11月)より

目次

第一 諸団体調査

一 旧右翼陣營の月間動向……………(一)

1 概況……………(一)

2 解散団体の再建若しくは新団体結成の動向……………(一)

3 月間における主なる活動……………(一)

4 五、一騒亂事件に対する旧右翼反共団体の反響……………(一)

二 反共団体月間の動向……………(一)

1 概況……………(一)

2 各団体の動向……………(一)

三 青年、學生、日教組の動向……………(一)

1 青年關係……………(一)

2 學生団体關係……………(一)

3 日教組關係……………(一)

4 子供の會關係……………(一)

四 第二十三回マデー狀況……………(一)

目次

一 東京部におけるマデー及び皇居前広場における騒擾の狀況……………(一)

2 東京部外各地におけるマデーの狀況……………(一)

3 京都マデー騒擾事件の概要……………(一)

五 日共の公然活動……………(一)

1 概況……………(一)

2 中央指導部の動き……………(一)

3 国会議員団の動き……………(一)

4 地方機關の動き……………(一)

六 國民監視網につて……………(一)

1 沿革……………(一)

2 國民監視網……………(一)

3 情報活動……………(一)

4 人防組織……………(一)


5 弾圧資料……………(一)

第二 対立する世界の動き (昭和二十七年五月分)

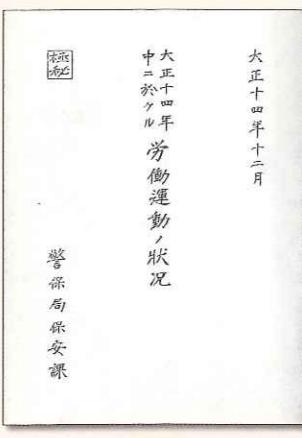
一 總説……………(一)

第三卷第六号(1952年6月)より

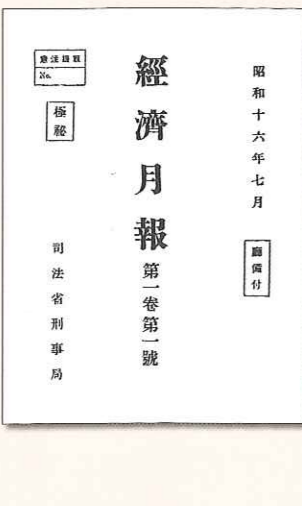
戦後社会運動未公開資料集刊行委員会編
戦後日本共産党関係資料
 《全40リール・別冊1・付録1》
 [マイクロフィルム版]
 ● 揃定価 本体600、000円十税
 ● 別冊 解説・解説(井上 學・井上敏夫・来栖宗孝・由井格)
 ● 付録 収録資料目録
 ● 推薦 伊藤 晃、加藤哲郎



廣畑研二編・解説
**一九二〇年代
 社会運動関係警察資料**
 《全12リール・別冊1》[マイクロフィルム版]
 ● 揃定価 本体200、000円十税
 ● 別冊 解説(廣畑研二)・総目録・索引
 ● 推薦 萩野富士夫



司法省刑事局編(昭和16年、昭和23年刊)
経済月報《全21巻・別冊1》
 A5判・上製・総10、800頁(復刻版)
 ● 揃定価 本体420、000円十税
 ● 別冊 解説(西田美昭・萩野富士夫)・総目次
 ● 推薦 中村政則、原 朗、由井正臣



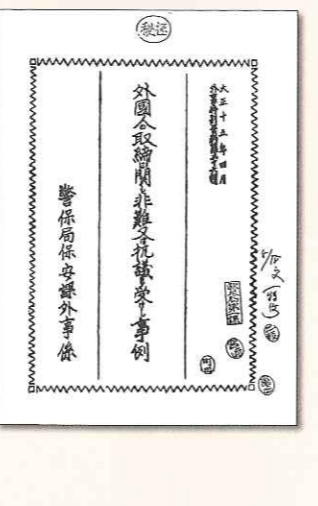
萩野富士夫編・解説
特高警察関係資料集成
 《第1期》《全30巻・別冊1》
 A4判・上製・総14、300頁(編集復刻版)
 ● 揃定価 本体775、000円十税
 ● 別冊 特高警察関係資料解説(分売可)25、000円
 ● 推薦 今井清一、奥平康弘、松尾尊亮、由井正臣、渡部 徹



朴 慶植編
**在日朝鮮人関係
 資料集成**《戦後編》《全10巻》
 A4判・上製・函入・総約3、500頁(編集復刻版)
 ● 揃定価 本体280、000円十税
 ● 解説 小林知子、宮本正明、長澤 秀、金 栄、高柳俊男
 ● 推薦 姜在彦、姜徳相、宮田節子、山田昭次



廣畑研二編・解説
戦前期警察関係資料集
 《全4巻》
 A4判・上製・総1、366頁(復刻版)
 ● 揃定価 本体112、000円十税
 ● 推薦 秋定嘉和、萩野富士夫



復刻版概要

法務府特別審査局 内部資料 特審月報

復刻版

全7巻十別冊1

一九五〇～一九五五年

A5判・上製・総3、114頁

配本——全一回配本「08年11月／09年4月」

揃定価——本体140,000円＋税

別冊——解説(荻野富士夫(小樽商科大学教授)・総目次

別冊のみ分売可||本体価格1,000円＋税
ISBN978-4-8350-6194-8

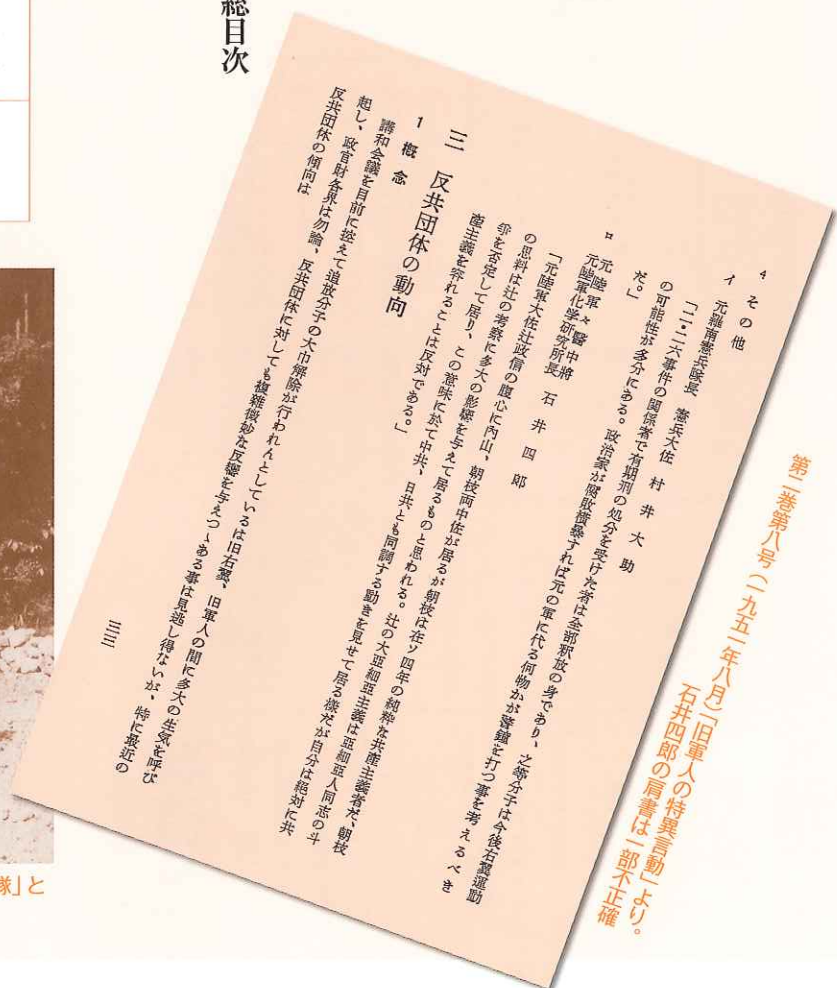
構成内容

復刻版
原本

第2回配本				第1回配本			
第7巻	第6巻	第5巻	第4巻	別冊	第3巻	第2巻	第1巻
第三巻第四～六号	第三巻第一～三号	第二巻第一～二二号	第二巻第九～一〇号	解説・総目次	第二巻第五～八号	第二巻第一～四号	第一巻第一～二二号
一九五二年四月～六月	一九五二年一月～三月	一九五二年二月・二月	一九五二年九月・一〇月		一九五二年五月～八月	一九五二年一月～四月	一九五〇年二月・二月
09年4月刊行 揃定価=80,000円＋税 ISBN978-4-8350-6189-4				08年11月刊行 揃定価=60,000円＋税 ISBN978-4-8350-6185-6			



山村工作隊(古里)への慰問団。旗には「日本共産党奥多摩山村工作隊」とある



●表示価格はすべて税別。

不二出版

〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話03-3812-4433
フAXン3303-3812-4464
振替001600294084